

## ❖ カーポート ❖

※色々な形や仕様がありますが、カーポート選びの際には設置敷地のサイズや状況を把握したいところです。設置することで生じる雨水の放流、落雪、遮光、建ぺい率、柱位置に給排水等の埋設物の有無等に問題がないかもチェックしましょう。一般に一台用の片流れタイプ程度のサイズはほとんど問題ありませんが、サイズによっては建物扱いとしての確認申請が必要な場合があります。各メーカーからは耐積雪量や耐風速数字が示されておりますのでお住まいの状況に合わせての製品選びが必要となります。いざという時の為に、オプションのサポート柱や雪おろし棒等も準備されておくと安心です。屋根材選びも主流のポリカーボネートは紫外線をほとんどカットしてくれます。夏場の暑さや熱線（赤外線）も軽減する屋根材を選択することもできます。

- 1 片流れ型（標準型）／一般的に一番普及しているタイプ  
平面屋根タイプ、R屋根タイプ、垂れRタイプ等があり、通常柱側が低く雨樋は柱沿いに地面に流すタイプ。



- 2 片流れ型（逆勾配型）／屋根勾配は柱と反対側に設置されているタイプ  
道沿いに縦列駐車したい場合や隣地に落雪や雨跳ねを配慮したい場合。



- 3 両サイド柱支持型／間口両サイドに柱があり前後が鳥居状に梁がある  
屋根傾斜は前後方向が一般的、耐積雪種類が豊富。



- 4 両サイド柱支持開放型／両サイドに柱があり柱位置が後ろ寄りにある為、  
前面道路幅が狭い場合に有効な仕様。



- 5 車庫型／壁面を設けた物、一般的な金属製のシャッター付きガレージや  
屋根材と同様の樹脂板で囲った三面囲い等もある。





6 その他／住宅壁付け型や敷地に合わせた変形仕様、耐積雪型等多種多様にある。

